「やってみたら、できた」が「あなたの未来」を変える

きららで身につく 8 つの「もっと大きな学力 (MOG)」

きらら国際高等学院(以下「きらら」)では、8つの「もっと大きな学力(MOG)」を大切に育てていきます。

「もっと大きな学力」とは、テストの点数では測れない、学びの土台となる力です。

たとえば「やってみようと思う気持ち」「最後まであきらめない力」などです。

どんなに力があっても「やってみよう」と思わなければ学びは続きません。

きららでは「やればできる」と言葉で励ますのではなく「やってみたらできた!」という体験を大切にしています。

この体験の積み重ねが自信となり、将来の進路(進学・就職)の選択肢を広げていきます。

「目に見える学力」と「もっと大きな学力」は、車の両輪のようなものです。

「目に見える学力」は前輪の役割で、進む方向を決める力(考える力・判断する力)です。

一方で「もっと大きな学力(MOG)」は後輪の役割で、前に進み続けるための意欲や姿勢を支えます。

前輪だけでも、後輪だけでも車はうまく進みません。両方がそろってはじめて、まっすぐ進むことができます。

「もっと大きな学力」の土台があるからこそ「目に見える学力」も伸び、進路実現へとつながります。

だから、予測不能な社会を生き抜く力を身につけるために、きららでは「もっと大きな学力(MOG)」を育てていきます。

「もっと大きな学力」と「目に見える学力」を獲得! → 高校卒業後、社会へ翔びだしていく

「やってみるか」という決意 & 「やったらできた」という体験

今の自分を
好きになる力
(自己肯定力)

「ま、いいっか」と
思える力
(環境適応力)

他者と
つながる力
(関係構築力)

自分を
整える力
(自己調整力)

自分の好きなことを
見つける力
(自己理解力)

自分で
選ぶ力
(自己決定力)

未来を
信じる力
(未来志向力)

あきらめない力
(自己回復力)

「もっと大きな学力(MOG)」
自分の未来を切り拓いていく原動力